

マレーシア編

## アラビア語も通じる？ マレー語の文字事情



クランタン州コタバルにて。ジャウィで書かれた道路標識と店舗名

パナソニックのジャウィ表記

マレーシアにしているとよくアラビア文字を見かけます。マレー半島東海岸やジョホール州では道路標識や店舗の名称によく使われ、マレーシア紙幣にも書かれています。これはアラビア語なのでしょうか。

いいえ、アラビア語ではなく、アラビア文字を使ったマレー語なのです。この表記をジャウィ(Jawi)と呼びます。

イスラム教徒のマレー人は子どもの頃から聖典コーランを通じてアラビア文字に親しみ、同時にこのジャウィも習います。ジャウィはアラビア語と同様、右から左に読みます。

アラビア文字表記は 1400 年頃に建国されたマラッカ王国後に使われ始めました。当時のマレー半島の人たちは文字をもっていなかったらしく、イスラム商人が貿易のために来てから使われたようです。

イギリスの植民地下でもジャウィが使われ、植民地官吏もこれを理解していました。20 世紀頭にはマレー語のローマ字表記が現れますが、ジャウィによる新聞や雑誌も発行され、マレー語をローマ字で書くことは生活の中ではほとんどありませんでした。ジャウィがローマ字にとって代わられたのは 1957 年の独立後。これ以降、公文書などもローマ字で綴られるようになりました。

今でもときおり新聞などで指摘されるのですが、ジャウィとローマ字でのマレー語表記になると発音が若干違うのです。ジャウィ表記は本来のマレー語での表記方法なので、宗教指導者らを中心に「ジャウィを使うべき」とし、身分証の氏名もジャウィにしないと本来の発音の名前ではないと主張しているのです。一時は道路標識のローマ字をやめるよう主張する政治家もいました。

現在は英語が準公用語になっていることもあり、多くのマレー人は主に自分の言語をローマ字で読み、それと同時にジャウィでも読むのです。ジャウィの新聞発行は少数ながら出ていますが、年配の方々にとってはジャウィで読んだり書いたりするほうがよいようです。

クアラルンプールの街中でもジャウィで書かれているものがありますが、くれぐれもアラビア語とお間違いないように。